



はばたき TEA TIME



今回は子供の「聞く力」を育てるためにどのような取り組みや支援がご家庭でもできるかを紹介します。

子供が成長していく上で、人の話から学ぶことは多くありますよね。「聞く力」が伸びると、話す力やコミュニケーション能力、想像力、共感力、集中力を伸ばすこともできます。

そこで今回は、聞く力を育てるポイントについてです。



① 段階的に年齢相応の「聞く力」があると理解する

例えば、3歳の子に3分間の話を「最後まで聞いて下さい。」と言っても、それは無理な話ですよ。10秒でも実はかなりの情報量で、子供の頭には入りきりません。3歳ならせいぜい5秒、4歳で10秒ひと区切りの話が聞ける程度です。子供が聞いていられる長さや情報量を踏まえた上で、「最後まで話が聞けた！」という体験を何度も積み重ね、少しずつレベルアップしていくことが大切です。

② 主語や述語を意識して話す

「それ、そこに置いて！」などと大人同士の会話は主語を省略しがちですが、子供からすると分からないかもしれません。「その本、机の上に置いてね！」と、主語や述語をはっきり言うようにすると、子供も分かりやすくなります。



③ 家族の中で伝言ゲームをする

例えば、「今から言うことを〇〇さん（家族の人）に伝えてきてくれる？」などと頼んでみましょう。そして、子供が聞いたことをその相手に伝えます。「聞く→覚える→伝える」という一連の流れを体験することが、聞く力を育てることにとっても効果的です。



④ お礼を言う

子供が話をきちんと聞いて、「ちゃんと聞いてくれてありがとう。」とお礼を言ってみてください。「最後まで聞く」というのはすごくよいことなんだよ、話を聞いてもらえると人は安心するんだよ、というこちらの思いが自然に伝わることでしょ。

はばたきでも「聞く力」を育てることを大切にこれからも取り組んでいきます。